

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	スーパー（店長）	・今後も様々な場面で、新型コロナウイルスの影響が出ると思われるので、地域に密着しているスーパーの需要は高まるものと思われる。
	◎	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍のなかではあるが、入学や卒業のシーズンでもあるため、新生活に向けた需要を期待している。
	○	コンビニ（商品担当）	・新型コロナウイルスのワクチンに対する期待が高まれば、景気は少し良くなると思うが、その前に諸外国のようなロックダウンがあれば、再び落ち込むと思われる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束次第である。2～3か月先にある程度収束の兆しが見えれば、蓄積されたストレスの反動で、景気はかなり良くなるのではないかと予想する。
	○	衣料品専門店（経営者）	・現在は客数と単価共に想像以上に良い状態である。これからバーゲンセールも予定しており、ある程度良くなっていくのではないかと期待している。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン承認により感染防止体制が整ってくれば、期待感が膨らみ一般消費者の消費マインドが向上するため、景気はやや良くなると思われる。
	□	商店街（事務局長）	・新型コロナウイルスの変異種が国内でも確認されたとの報道は、ワクチン接種が国内で近々始まるとの明るいニュースを払拭してしまった。今しばらくは高齢者を中心に外出や消費を抑えた生活が続くと思われる。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が見通せない限り、消費マインドは復活しないと思われる。
	□	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、状況は変わらないと思う。
	□	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善しない限り、外食などの自粛が続き、自宅での消費が伸びたままになると推測する。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルス禍の先行きが全くみえず、消費が落ち込んだ状態が続いていくと思われる。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、厳しい状況に変わらない。ワクチンの普及など、事態が大きく改善することがなければ景気回復は難しいと考える。
	□	家電量販店（店員）	・来年はシングル用の家電需要も例年ほど期待できない。
	□	家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響が出るおそれがあり、今後も景気は変わらない。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・年度末のキャンペーンを実施するが、新型コロナウイルスの影響もあるため、大きな期待はできない。
	□	乗用車販売店（従業員）	・景気は回復傾向ではあるが、新型コロナウイルスがそのまま拡大し続ければ売上に影響が出ると思われる。
	□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが収束しないと、客の動きが出ないと思われる。Go Toキャンペーンの期間中は、県外から観光客がマイカーや公共交通機関を利用して訪れていたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大してからは、県内のタクシーやハイヤーの利用状況はかなり悪化している。
	□	通信会社社員	・今後は離脱率の低い低価格プランをプッシュするため、客獲得数は増加すると想定されるが、売上はしばらく変わらないと思われる。
	□	通信会社（営業部長）	・余分な購入は減少していると感じるが、日常生活に必要な消費は減少していないと感じる。
	□	通信会社（支店長）	・各社の新料金プランの発表が出そろうまで、大きな動きは起こりにくいと考える。
▲	商店街（代表者）	・第3波が年明けすぐに収束するような様子もなく、かなり厳しい状況がこのまま続いていくように思う。春先にイベント等も計画中だが、中止せざるを得ないという意見も多く、かなり厳しい状態がまだまだ続くと思われる。	
▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末年始の夜の街関連の予約注文が少なく、閉店や送別の贈物の注文も散見される。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として会食の自粛が要請されており、年明けからはまた一層厳しくなると思われる。	

	▲	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスと季節型インフルエンザの同時流行のおそれ、ますます飲食店への客足が遠のくだろう。新型コロナウイルスが収束するまで先がみえない。
	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染が今後更に拡大し、人々が自粛生活を余儀なくされ、経済全体が委縮すると思われる。
	▲	スーパー（財務担当）	・家で料理を作るという習慣はある程度定着すると思うが、景気の悪化や収入の減少で、節約志向が強まるとされる。
	▲	コンビニ（店長）	・クリスマスの時期は好調であったが、それ以降は外出自粛の影響で朝の出勤時は前年並み、19時以降はほぼ来客なしといった状況である。この傾向は今後も続くと考えている。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・今月の新型コロナウイルス新規感染者の増加傾向をみると、先行きは不透明であり期待できない。
	▲	乗用車販売店（役員）	・新型コロナウイルスの影響次第だが、Go Toキャンペーンやワクチンの効果が出れば上向くと思われる。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・お歳暮や外出自粛による家飲みで、年末は繁盛していたが、2～3か月先はすごく悪くなると思う。
	▲	一般レストラン（経営者）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況によるが、ますます人の動きはなくなるとされる。ワクチンに期待したいが、早くてもあと半年は我慢の時期が続くのではないかと非常に不安である。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染防止対策の時短営業や入店規制などが続いているので、景気が良くなる要因がなく、更に悪化すると思う。
	×	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、商店街への人出自体が減少傾向にあり、現在の予想では更に悪化するとされる。
	×	百貨店（営業管理担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、Go Toキャンペーンの一時停止や行動規制が行われ、先行き不透明である。
	×	スーパー（人事）	・収入が減少する人が増加し、更に節約志向が高まるとされる。また、今後、収入格差が生まれるのではないかと考えている。
	×	コンビニ（店長）	・クリスマスから年末の状況をみても、人の動きはかなり鈍く、この状況下で閑散期の1～2月を迎えるのはかなり不安である。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がみえない現在の状況では、購買意欲は上がってこない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン次第だが、投与開始時期は最短でも3月との報道もあり、景気が良くなる要因がない。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が長期化すると思われ、人の動きが更に悪くなる。都市部の状況が改善しないと景気回復に向けたムードが盛り上がらないと感じる。
	×	タクシー運転手	・今の街の状況を考えると、新型コロナウイルスの新規感染者数が更に増加し、夜に飲みに出る人もますます減少することが予想されるため、景気が良くなる要素は何もなく、悪化する一方だと感じている。
	×	観光遊園地（職員）	・新型コロナウイルスの変異種の上陸により、収束の時期がみえなくなった。
	×	美容室（経営者）	・来年の予測ができない状況である。
	×	設計事務所（所長）	・このままの状態が続くと、建設業にも影響が出始めるようになると思われる。そうなると、かなり景気は悪くなると判断している。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの販売戸数が回復しており、この状況が続けば順調に回復していくと予想している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、再生可能エネルギーの設備に関する需要は一定数あり、今後もこの状況は続くと考えている。
	○	電気機械器具製造業（経理）	・短期ではあるが、今後2～3か月の需要は継続する見込みである。
	○	税理士事務所	・新型コロナウイルスの影響が少しずつ減少していく可能性があると考えられる。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス新規感染者の増加に歯止めが掛からないと推測する。

	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響でウェットクリーナーの売上が伸びていたが、最近では供給過多になっている。原因は同業他社や海外企業の供給力がアップしたことが考えられる。しかし、需要は依然として高く、当社の売上が急激に落ちることはないと思う。
	□	建設業（経営者）	・年度末に掛けて繁忙期に入り、安定的な売上を見通すことができることに加え、補正予算や次年度予算に対する期待感があり、景況感は今までと変わらない。
	□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響と人手不足が心配である。
	□	輸送業（営業）	・年度末にあたる3月に決算を迎える企業も多く、例年であれば3～4月は取扱物量が増加する繁忙期にあたるが、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の収束が見通せない現状においては、景気の動向を予測しづらい。
	□	通信業（企画・売上管理）	・3月までは都市部の大手企業を中心に、一定の売上を期待している。
	□	広告代理店（経営者）	・Go Toキャンペーンの効果等で少し上向いてきていたが、新型コロナウイルス感染拡大の第3波の影響で、客の販売促進広告計画の変更があり、今後も削減傾向が続くと予想されるため、余り変わらない見込みである。
	▲	農林水産業（職員）	・寒波の状況次第だが、新型コロナウイルス禍の影響は大きく、業務用品目を中心に厳しい販売状況が今後も想定される。
	▲	繊維工業（経営者）	・今年を振り返ると、インバウンドの恩恵があった全国の有名観光地の落ち込みは70～80%弱と大変厳しく、まだしばらくはこの状態が続くものと思われる。ここ2～3か月はその他の地域の売上でカバーし、全体では前年並みを確保してきたが、新型コロナウイルスの第3波が発生し、これまで良かった地域が悪化すれば当社も全体では厳しくなると予想する。
	▲	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの第3波の影響で、Go Toキャンペーンの一部が停止されたことにより、再び悪化すると考える。
	▲	輸送業（経理）	・当地域内での新型コロナウイルスの影響は限定的だが、都市部への原料輸送や海外向けの輸出に関して影響が出てくると思われる。
	▲	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、対面営業を行う商材の販売に影響が見込まれる。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・受注残も底を突き始めている。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の継続や原油価格の低迷、点在する地政学的リスクもあり、景気は極めて厳しい状況にある。
	×	輸送業（経営者）	・先がみえない状況である。
	×	金融業（副支店長）	・Go Toキャンペーンも一部中止となり、第3波の沈静化にはしばらく時間を要すると思われる。特に飲食や宿泊関係の経営者は再度の大打撃を懸念しており、事業存続が厳しい取引先も増加している。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	—	—
	□	職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により、人の動きが若干増えてきて、状況は緩やかに改善していたが、現在は日本全体で新規感染者数が増加傾向となっている。Go Toキャンペーンの一時停止等、第3波の襲来で状況は既に悪化しており、この状況がしばらく続くと思われる。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で企業が採用活動を控えると思われる。
	▲	人材派遣会社（営業）	・年末年始から人の移動自粛が要請され、これまでの常識では通用しない状況となっている。飲食や交通、宿泊、観光などに関わる人材の雇用維持が不安定になってきており、今後は新しい様式のビジネス体制が求められる。
	▲	求人情報誌（営業）	・不景気業界での離職が増加し、求職者数は増える見込みだが、今後求人の増加が見込める主な業種は、一部の製造業と介護福祉業界のみである。そのため、求職者と求人側のマッチングがスムーズにいかず、景気としては悪化すると思われる。

▲	求人情報誌製作会社（従業員）	・新型コロナウイルスの第3波の影響により求人数の減少が予想される。
▲	新聞社 [求人広告]（担当者）	・早く経済活動が元に戻ることを期待している。
▲	職業安定所（職員）	・3月の離職者が最も多くなると考えられるが、その離職者が再就職できるかどうか、求職者数と求人数の動向も注視する必要がある。
▲	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、宿泊業を中心に観光関連の求人は今以上に厳しくなる可能性がある。
▲	学校 [大学]（就職担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が今後更に増加していけば、景気回復は一層厳しい状況になると危惧される。
×	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大を懸念し、企業の生産活動の不安定化やサービス業の需要減少が進んでいる。それに比例して、派遣社員の需要もなくなってきており、先行きがみえない状況である。